

*本リリースは、メキシコで9月3日に発表したプレスリリースの参考和訳です。



2015年9月3日

ダイムラーとルノー・日産アライアンス、新合弁会社のメキシコ工場建設に着工

- メルセデス・ベンツおよびインフィニティ向け次世代プレミアムコンパクトカーを生産するアグアスカリエンテス新工場の建設に着工
- 2017年にインフィニティ車両の生産を開始
- 2018年にメルセデス・ベンツ車両の生産を開始

ダイムラーとルノー・日産アライアンスは3日、メキシコ中部のアグアスカリエンテスで、ダイムラーと日産が出資して設立する生産合弁会社 COMPAS (C**O**operation **M**anufacturing **P**lant **A**guascaliente**S** の略) の新工場建設に着工したと発表しました。本工場では、メルセデス・ベンツ及びインフィニティ向けの次世代プレミアムコンパクトカーを生産します。

3日に行われた新工場の定礎式には、メキシコのイルデフォンソ・グアハルド経済大臣、アグアスカリエンテス州のカルロス・ロサノ・デ・ラ・トーレ知事の他に、メルセデス・ベンツ・カーズ 生産・サプライヤーチェーン担当取締役のマルクス・シェーファー、メルセデス・ベンツ・カーズ コンパクトカー生産グループ担当のヨルク・ブリグル、日産の副社長で北米マネジメントコミッティ(MC-NA) 議長のホセ・ムニョス、Infiniti Motor Company Ltd. 社長のローランド・クルーガー、COMPAS の CEO (Chief Executive Officer) である黒澤良二、同 CQO (Chief Quality Officer) である グラウツィオ・ライテ、COMPAS 取締役会長のアルマンド・アビラを始めとする 400 名以上の来賓が出席しました。

メルセデス・ベンツ・カーズ 生産・サプライチェーン管理担当取締役のマルクス・シェーファーは、「本日は、ダイムラーとルノー・日産アライアンスの協力関係にとって重要な節目の日です。この新たな共同工場により、両社はそれぞれのお客さまに、迅速かつより柔軟に商品を提供することができます。また、北米自由貿易協定 (NAFTA) 地域ではメルセデス・ベンツ初のコンパクトカー生産拠点として、この地域での当社の事業を大幅に拡大するでしょう」と述べました。また、「当社としては、合弁会社の高効率と柔軟性を共有しながら、メルセデス・ベンツ独自の技術と、ドイツ・ラシュタットにある当社の世界トップレベルのコンパクトカー生産工場からの指導および支援を提供していきます。こうした実績のある手法を通して、ここアグアスカリエンテスでも、欧州や中国にあるコンパクトカーの生産拠点と同様の高い品質を保證することができるでしょう」と付け加えました。

COMPAS におけるダイムラーと日産の持ち株比率は 50:50 です。両社は総額 10 億 US ドル (1,210 億円) を投資し、本合弁会社は、最高水準を目指す生産工場の建設と運営を統括します。

日産の副社長で北米マネジメントコミッティ(MC-NA)議長のホセ・ムニョスは、「この新工場は、ルノー・日産アライアンスとダイムラーの協業拡大を示す新たな成果です。メキシコは、車両生産における品質および効率性のグローバルベンチマークです。これこそが、ダイムラーと日産がここアグアスカリエンテスを、メルセデス・ベンツおよびインフィニティブランドの次世代プレミアムコンパクトカーの生産拠点として選んだ理由にほかなりません。また本日の定礎式を迎えられたのは、州政府・連邦政府などとの協力関係もあったおかげです」と述べました。

COMPAS の新工場は、日産のアグアスカリエンテス第 2 工場に隣接して建設され、初期段階の年間生産能力は 23 万台以上を予定しています。また、2020 年までに約 3,600 名の直接雇用を創出します。生産能力は市場の伸長や需要の拡大に応じて、拡張する可能性もあります。2017 年にインフィニティ向けモデル、2018 年にメルセデス・ベンツ最初のモデルをオフラインする予定です。また、COMPAS は直接雇用だけでなく、約 12,000 名の間接雇用の創出も見込まれます。これは主に高い現地調達率によるもので、メキシコにおけるサプライヤーベースを大幅に拡大します。

COMPAS はダイムラーおよび日産の代表者で構成されるグローバルなマネジメントチームが運営します。黒澤良二 チーフ・エグゼクティブ・オフィサー(CEO)、ウーヴェ・ヤーロシュ チーフ・ファイナンシャル・オフィサー(CFO)及びグラウツィオ・ライテ チーフ・クオリティ・オフィサー(CQO)が主要役員です。

アグアスカリエンテス州のデ・ラ・トーレ知事は、新工場がアグアスカリエンテスにとって重要な雇用機会になるとし、「この新工場建設は、アグアスカリエンテスがグローバル自動車産業の主要な生産拠点として位置づけられていることを改めて証明するものです。私たちは引き続き、官民のパートナーシップを促進し、世界で最も重要な産業の生産拠点としての地位を強化していきます」と述べました。

また、2014 年 6 月に発表された通り、ダイムラーとルノー・日産アライアンスは、メルセデス・ベンツおよびインフィニティの両ブランド向け次世代コンパクトカーを共同開発します。両社は商品開発プロセスのあらゆる段階において緊密に協力していきます。メルセデス・ベンツ、インフィニティ、それぞれのブランドアイデンティティは守られ、商品のデザインやドライビング特性、仕様においては全く異なるものになります。

また、ダイムラーとルノー・日産アライアンスは、北米以外にも世界中の生産拠点で次世代プレミアムコンパクトカーの生産を行う予定です。

メキシコで共に成長

メキシコは、ダイムラーにとってすでに合計で約 8,000 名の従業員を有する重要な生産拠点となっています。同グループは、サルティヨ、サンティアゴ・ティアンギステンコ、ガルシアにトラックおよびバスの生産工場を有し、サン・ルイス・ポトシに部品流通センター、トルーカに組立工場、商品配送センター、乗用車向けトレーニングセンターを所有しています。

日産は 1992 年からアグアスカリエンテスで車両生産を行っており、その有能で生産性の高い労働力は広く知られています。2013 年 11 月には、アグアスカリエンテス第 2 工場を開所しました。またクエルナバカにも工場を所有しています。3 つの工場の年間生産能力を合わせると 85 万台になります。日産はメキシコで販売されている車両の 4 台に 1 台を占める、トップ自動車メーカーとなっています。

メルセデス・ベンツ・カーズのグローバル生産ネットワークについて

メルセデス・ベンツ・カーズは、70,000 名以上の従業員を有する世界各地 26 の生産拠点により、柔軟で生産性の高いグローバル生産ネットワークを形成しています。前輪駆動車(コンパクトカー)や後輪駆動車(S クラス、E クラス、C クラスなど)の生産アーキテクチャーに加え、SUV およびスポーツカーのアーキテクチャーを軸にネットワーク化されています。また、パワートレイン生産ネットワーク(エンジン、トランスミッション、車軸、部品)も有しています。このような生産ネットワークはそれぞれ、新製品、技術、品質保証の向上をリードする工場の下にグループ化されています。

ルノー・日産アライアンスの生産ネットワークについて

ルノー・日産アライアンスは 27 カ国で、42 の車両生産工場および 39 のパワートレイン工場を含む、合計 81 の生産工場を展開しています。

アライアンスはまた、ロシアのアフトワズや中国の東風汽車など、13 カ国で現地パートナーと生産協定を結んでおり、グローバルに合計 106 の工場で、アライアンスグループ 8 つのブランド向けに車両やエンジンの生産を行っています。2014 年には 800 万台以上の車両を生産しました。これは、4 秒毎に平均 1 台の車両を生産している計算になります。

* 為替は便宜上、直近の為替レートである 1US ドル=121 円としました。

以 上